

三重大学医学部クラスターについて（第5報）

2020年8月10日

三重大学医学部クラスターについて、本日8月10日時点の調査状況を報告します。

1. 調査状況

このクラスターは、7月23日から25日にかけて関西方面の訪問歴のある1名と、7月23日から24日にかけて和歌山県を訪問した者（11名）の2つの一次感染の経路が考えられています。（上記12名を一次感染者とします。）。

陽性が判明している24名の感染可能期間の行動歴を確認し、濃厚接触者調査を行い、検査を実施するとともに、健康観察を行っています。

なお、8月9日（日）のPCR検査における陽性者は0名でした。

2. 医学部としての対応

授業はすべてオンラインに切り替えています。8月5日と7日には医学部学生・クラブ活動関係者への緊急オンラインミーティングを開催し、事態の重大性、社会的責任を自覚した行動の徹底、具体的にはクラブ活動を当面の間、全面的に休止すること、アルバイトは2週間自粛することなどの、注意喚起を行いました。濃厚接触者、陽性者と接触のあった可能性のある学生に対しては、引き続き保健所ならびに本学保健管理センターと連絡を取り、検査や自宅待機等の措置をとっております。入院中および退院した学生に対しては、個人面談を行って今後の生活について指導し、保健管理センターによる2週間の経過観察を行います。また、今後、医学部生全体を対象にした健康調査を実施することを予定しています。

医学系研究科長・医学部長
須藤 啓広